

## 新庁舎建設特別委員会の概要（第28回）

- |   |     |                                             |
|---|-----|---------------------------------------------|
| 1 | 日 時 | 第28回 令和7年3月7日（金）<br>13時30分～14時43分、15時～16時2分 |
| 2 | 場 所 | 第1議会委員会室                                    |
| 3 | 出 席 | 全委員                                         |
| 4 | 内 容 | 1 候補地決定について<br>2 その他                        |

執行部が決定したプラザちゅうたい案の課題について、執行部に対する質疑を行い、その後議員間で協議を行った。

### 1 候補地決定について

#### 【委員会で出た主な意見】

〈委員〉体育館の財政負担の見通しは。

→これから体育館利用者、関係者と合意、形成を図っていき体育館の規模や機能が明確になり、その後に設計になってくるので、現在出ている数字は現在のプラザちゅうたいと同等規模のものを建てた場合の概算費用である。

〈委員〉社総金については、間違いなくでるのか。

→国の要綱では要件に該当した2分の1出るということになっている。令和7年度予算も交付決定は出ていないが、要綱上出るということで予算計上している。

〈委員〉庁舎を建て替える面積があるとのことだが、50年、60年後に建て替えになると思うが、人口は減っていきおり、そこまで考えなくてもよいのでは。

→50年後にどんな時代が来ているのかというのは想像しにくいところもあり、少子高齢化で人口が減少することで職員も少なくなって小さい庁舎でという時代かもしれない、DXなど進んでもそれに伴う処理というのが必要なので職員数減らないかもしれない。難しいところだが、プラザちゅうたい案であれば同等クラスを同じ敷地内で建て替えることは可能である。

〈委員〉規模やコストについてはどのタイミングで話をするのか。

→来年度以降、基本計画の中で決めていく。

〈委員〉新しく建てる体育館の規模は。

→現在のプラザちゅうたいの構造と規模は同等でみている。これから体育館利用者、関

係者の皆と合意形成を図っていく上で、必要性はないという部分があれば、削っていくことが可能だと考えている。

〈委員〉 体育館の使用できない期間はどのようにするのか。

→利用者には負担をかけるが、小中学校や近隣市町村の体育館など代替施設があるというところが大きなポイントになる。閉鎖期間については、できるだけ短くなるように手法等も含めて検討していく。

〈委員〉 前平公園の駐車場の台数について、現状でも少ないと思うが。

→プール跡地については、8,000 平米の中にそれだけの建物を建てるわけではないので、何台になるかわからないが、駐車場はできる。北側に民間の駐車場があり、前平公園を活用するときには貸してもらい契約等もしており、体育館で使うときも、借りるということをやっていけば 200 台前後の駐車場が確保できる。畜産研究所では、体育館を建てるために約 2.6 ヘクタールの造成をし、200 台以上の駐車場になる。

〈委員〉 プールの一部借地を借り続けるのか。

→まだ相手方と交渉をしていない。

〈委員〉 畜産研究所に体育館を作った場合の侵入経路は。

→道路は都市公園を減らすことになるので、西町作洞線から考えている。

〈委員〉 将来負担比率はいつゼロになるのか。

→令和 11 年ぐらいから負担が発生して令和 12 年の 30%弱そこをピークに、令和 18 年ぐらいから発生しないと見込んでいる。

〈委員〉 都市計画マスタープランの見直しは今後あるのか。

→20 年の計画となっており、状況に応じて変更、見直しもしていくと記載しており、まちづくりの計画を今後大きく変える場合には見直しをしていくと考えている。

〈委員〉 説明会の開催時期はいつを考えているか。

→整備地が決定した後、あるいは基本計画で機能など明確になってからの段階ではあると考えている。

〈委員〉 駅前再開発、シティホテル精算などがあり、令和 16 年以降の地方債残高の見通しを出してほしい。

→過去の決算の推移を基に見込みで立てており、この先どうなるかがわからないところもある。10 年後先、20 年後先、30 年先というのは非常に見通すのが難しい。定期的に更新をしていき、その先をできるだけ正確にしていくことが必要である。

〈委員〉 財政調整基金の見込みは。

→今後減っていく見込みだが、今後いくらぐらいになるかは難しいが、10 年後でも 20 億円はきらない見込みである。

〈委員〉 今後の歳入見込みは。

→生産人口、労働力人口が減っていくので、下がると思うが、賃金上昇、物価上昇とを踏まえると微増になる見込みである。

〈委員〉 避難所としてのプラザちゅうたいについて。

→プラザちゅうたいは二次避難所であり、移設をした場合も二次避難所としての位置づ

けは引き続きやっていく。一時避難所の前段階の避難所としては、生涯学習センターと福祉会館の2つがある。プラザちゅうたいエリアだと生涯学習センターがあり機能は維持していく。

〈委員〉実質公債費比率、将来負担比率の考え方について

→市民に不安を与えてしまうという数字にもなりかねない。ある程度健全化した数字を維持していく。行き過ぎた数字になってしまうと国からのペナルティもあり、常に情報発信をしながら、市民に今はこれぐらいの借金を抱えているが、未来のビジョンがあるから投資したということを示していくことが大事であると思っている。

〈委員〉体育館を使っている人や使っていない人に対する説明が必要。

〈委員〉物価高騰も続いており、反対の気持ちはない。

〈委員〉図書館や体育館など市民に不足している情報を説明してほしい。

〈委員〉体育館と図書館については市民合意が必要である。

〈委員〉プラザちゅうたいに庁舎を建てるなら先に体育館を建てるべき。

#### 【まとめ】

プラザちゅうたい案に対して、質疑を行い執行部に説明を受けた。委員会としての決定事項はなし。